***とめよう！　憲法違反の戦争法！！***

京都憲法共同センターFAX情報

連絡先；京都総評事務局　ラボール京都５階　075-801-2308 FAX 812-4149

劇的に広がる反対の世論と運動

地域・職場・大学…大運動で廃案へ！

**京都憲法共同センター団体・地域代表者集会開催**

京都憲法共同センターは、26日夜、延長国会へむけたたたかいをいっそう大きく広げようと、団体・地域代表者集会を開催し、４０名の代表の皆さんが参加しました。国会から駆けつけた井上さとし参議院議員は、３月以来の各報道機関による世論調査で法案反対が58.7％（6月22日）になり、6月に入ってから11ポイント急増していることを示して、憲法審査会で憲法違反と憲法学者から指摘された6月4日以降の劇的な世論の湧き上がりの中で、追い詰められている政権・与党の姿を報告。論戦で浮かび上がった「戦争する国づくり」の姿を示して、採決できない状況を国民の圧倒的世論と運動でと呼びかけました。

**急速に広がる地域と職場総ぐるみの運動、各地・各団体から次々**

**【戦争法案に反対する左京の会】** 「デモを繰り返し行い、学区へ広げる、寺院訪問など共同を」と最初に発言に立ったのは戦争法案に反対する左京の会。この間6月に入って毎週デモ。参加者が増え、6月24日は95名で市役所行動へ合流。百万遍まで岩倉地域からかけつける参加者などもあり、7月12日には修学院９条の会がデモ、15日には一斉行動で、地域へ取り組みを広げる計画を披露。

**【教職員投票広がる　京教組】** 教職員組合は、府内の学校職場で「教職員投票」を実施中。発言に立った代表は、職場ぐるみで広がる投票と対話を報告。久しぶりに今の情勢に不安や怒りの声も上がる職員室、若い教職員から参加が広がり、投票では「私のひとこと」が次々と記入されています。「平和憲法は日本の誇りです。戦争法案絶対反対です！」「子どもたちは平和な世界を求めています」「戦争に向かっているような流れをぜったいにストップさせたいです」「何のために教育に力を入れたのか、原点に戻って考えてください」…など、戦争へ突き進んだ教育は二度と繰り返さない決意とともに、声が多数集まっています。

**【民主青年同盟】**民青同盟は、東京での若者憲法集会と6月21日、シールズ関西といっしょに取り組んだ円山公園からの2200名のデモのようすを報告。大学門前や街頭宣伝など8月末まで集中行動中。街頭宣伝で知り合った青年が集会へ参加、いっしょに取り組むようになり、今後7月には青学連で憲法集会の報告会を開く。「青年の変化に確信を持って、大きな取り組みにする」と発言。

**【母親連絡会】**6月23日、会議前の夕方、左京区熊野神社前で宣伝に12人が参加。大看板を交差点にならべての署名に、次々と市民が立ち止まり、「怒ってる。もっとみんながおこらなあかん！」「がんばってや！」と怒りと激励の宣伝に。

◆ 「とめよう戦争法！ 大集会」７月１８日（土）午後１時半、円山音楽堂　へこぞって